

# 米商進路だより

令和6年2月13日発行  
山形県立米沢商業高等学校  
進路指導部（第30号）

## 《 パーパス（purpose） 》

突然ですが、パーパス（purpose）という言葉を知っていますか。パーパス（Purpose）とは、一言でいうと企業の存在意義のことです。「目的」「目標」「意図」などと訳される英単語ですが、ビジネスシーンでは近年、企業の社会的な存在価値や社会的意義を意味する言葉として使われているようです。つまり、「自社は何のために存在するのか」「その事業をやる理由は何か」といった根源的な問いの答えとなるものがパーパスです。

このことを本校に置き換えてみると、「商業高校は何のために存在するのか」「その授業をやる理由は何か」ということになります。商業科目である「簿記」「情報処理」「ビジネス基礎」等の授業の中で、ビジネスマナー等を習得することが原点です。国語・数学・英語の基礎学力を知ることが大切です。本校で実施している基礎力診断テストのGTZで確認したり、各種検定に挑戦することも個々のパーパスということになるのかもしれない。

過日行われた進路ガイダンスで3学年主任の安部朋子先生からアドバイスをいただきました。ジョハリの窓という話を覚えていますか。自分も周囲も認める「窓」を開けることが大切であり、自分も周囲も未知の「窓」を開けるのはリスクが高いことを話してくださいました。各学年が進級するための3学期は、学校教育の中では「0学期」とも呼ばれ、次の学年の準備期間です。特に、在校生は進路達成に向けて、自分を知ることから始めてください。

### 1. 自分を知ること（ジョハリの窓）

- （1）自分の興味関心のある分野を分析し、進学または就職を決めなければならない。
- （2）夢を持つことは大事だが、適性検査・学力検査（基礎力診断テストのGTZ段階）等から現状を知る必要がある。

### 2. 相手を知ること

- （1）企業や大学はどんな人材（人材）を求めているか。
- （2）学力、費用、受験科目を知るためのオープンキャンパス等で情報を収集する。

### 3. 自分から動くこと

- （1）「やらされる」のではなく「自分で見極めて」自分自身が真剣に考える。
- （2）日々の学習や部活動に加え、探究活動やボランティア等の課題解決をするための行動力が求められている。



## 《 新スタートアップセミナー 》

2月9日（金）に3年生就職内定者に対する心構えのセミナーを本校で開催しました。講師は人材育成アカデミーローズレーンの黒田三佳氏であり、ご自身のCA時代のエピソードを交えながら社会人1年目としての話をいただき、参加者の意識が高揚したと思っています。特に、1年目は分からないことだらけなので、上司（先輩）に聞いて解決しないと次に進まないことを教えていただきました。

また、パネルディスカッションでは、トヨタカローラ山形と特別養護老人ホームおいたまの郷に勤務している本校卒業生が参加をしてくれて、在校生にアドバイスをいただきました。企業は新入社員が入社してくれるのを心待ちにしている話を聞いて不安を解消できた人もいたと思います。「仕事」「人間関係」「環境」への不安は誰もがあられるかもしれませんが、周りの人に助けをもらうことで解決することが多いと話をしていたことも印象的でした。



## 《 帰宅効果 》

学校行事（修学旅行）や部活動（大会・遠征）で出かけるときに、「行き」よりも「帰り」の方が早く感じる人が多いと思います。このような現象を帰宅効果というそうです。学校生活を振り返ってみて時間の経過をどのように感じていますか。子どもの頃は、時間の経過を遅く感じていたのに、大人になると時間の経過が早く感じられるというのは、一定の法則が関係しているのだそうです。「時間の概念」というものは不思議なものです。

1月から2月は、本校にとって検定繁忙期でありそれぞれの目標を達成するには非常に充実した期間を過ごしました。結果が判明し、努力が成果となって現れた人がいる一方で、あと少しのところ合格を逃してしまった人がいるのかもしれませんが、パーパスという話をしましたが、本校は商業高校であり、カリキュラムに則り学習を進めています。自分の現状を知り、更に伸ばすために何が大事かを確認するのが今の時期だと思ってください。

期日	曜日	内容
2月15日	木	合格体験記（3年生から）
3月21日	木	先輩からのメッセージ（卒業生から）
3月22日	金	企業を知る（SDGsの実践事例）⇒探究活動のヒント

※3月の特別時間割の中で適性検査・性格検査等のフィードバックを実施予定